

血管外科手術例数アニュアルレポート 2011

・本集計はNCD登録された手術症例の中から血管外科に関する手術を抽出して、集計したものである。

1.動脈瘤に対する血行再建【2011】

大動脈瘤

大動脈瘤	例	男	女	内訳						病因						術式				使用代用血管								
				術死 ¹⁾	在院死亡 ²⁾	破裂		解離 ³⁾	透析 ⁴⁾			変性疾患 ⁵⁾			“炎症性” 血管炎	感染	一次性結合組織異常 ⁶⁾	その他	置換		空置バイパス	ステントG ⁷⁾	ハイブリッド ⁸⁾	ポリエステル	ePTFE	その他		
						例	術死		在院死亡	例	術死	在院死亡	例	術死					在院死亡	例							術死	在院死亡
腹部大動脈(-腸骨動脈)	13,218	10,917	2,301	332	454	1,253	236	280	360	498	15	24	12,466	302	410	211	12	184	36	277	6,004	1,076	143	5,873	74	6,716	336	87
腎動脈再建あり	244	190	54	12	14	12	3	3	15	12	0	0	226	12	13	3	2	4	1	6	193	39	4	0	7	228	16	6
腎動脈遮断あり	978	807	171	58	74	137	36	40	41	43	2	2	899	55	65	26	2	28	2	17	767	199	13	0	8	940	33	10

注：胸部大動脈瘤については、JACVSDIに登録している施設が大多数を占め、NCDに登録された例はごく限られていると推測されることから、本集計では公開しない（ただし、心臓血管外科学会と協議をした上で、正確な手術件数が明らかになった時点で公開を行う予定）

*大動脈瘤(腹部-腸骨)死亡数

大動脈瘤の術式	破裂			非破裂		
	例	術死	在院死亡	例	術死	在院死亡
置換	1,025	197	233	6,041	65	119
空置バイパス	43	9	13	100	3	5
ステントグラフト	174	23	27	5,693	27	48
ハイブリッド	3	2	2	71	1	2

注：術式毎に死亡率を比較する際には、登録症例の病態、重症度、施設の適応基準、体制など多くの異なる背景があることに留意のこと。
一部数値の誤りがあり、訂正を行っております(2016/10/20)

末梢瘤

末梢瘤	例	男	女	内訳						病因						術式				使用代用血管									
				術死 ¹⁾	在院死亡 ²⁾	破裂性		変性疾患	血管炎 ⁹⁾	感染	外傷	その他	置換	空置バイパス	結紮・切除	ステントG ⁷⁾	その他	ポリエステル	ePTFE	自家血管	その他								
						例	術死															在院死亡	例	術死	在院死亡	例	術死	在院死亡	例
大動脈弓分枝	頸動脈	8	6	2	0	0	1	0	0	3	0	1	2	2	0	1	3	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	椎骨動脈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鎖骨下動脈	31	25	6	3	4	4	2	2	18	1	6	3	3	5	5	6	11	4	2	4	3	0	0	0	0	0	0	0
	大動脈弓分枝多発病変	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	19	12	7	2	3	10	1	2	9	0	4	0	6	2	3	6	3	5	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上肢動脈	腋窩動脈	13	12	1	0	1	1	0	0	9	0	1	0	3	10	3	0	0	0	3	6	5	0	0	0	0	0	0	0
	上腕動脈	184	94	90	2	5	36	1	2	29	1	31	48	74	40	7	82	0	54	6	16	23	1	0	0	0	0	0	0
	前腕一手指動脈	110	63	47	1	1	13	1	1	45	2	15	17	31	15	2	70	0	22	4	9	3	0	0	0	0	0	0	0
	その他	64	39	25	2	2	8	0	0	14	0	9	4	37	11	3	40	0	9	2	9	3	0	0	0	0	0	0	0
腹部内臓動脈	腹腔動脈	22	18	4	0	0	2	0	0	22	0	0	0	0	6	1	4	7	4	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	肝動脈	16	11	5	2	2	3	1	1	14	1	1	0	0	4	3	2	0	7	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	脾動脈	46	22	24	0	0	6	0	0	39	1	0	0	6	1	1	10	1	33	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	上腸間膜動脈	18	17	1	1	1	1	0	0	10	1	4	0	3	4	2	7	1	4	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0
	腎動脈	42	26	16	1	1	2	1	1	38	0	0	4	4	7	7	3	21	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0
	その他	358	306	52	8	8	42	7	7	320	2	8	5	23	97	7	66	94	92	87	10	3	0	0	0	0	0	0	0
下肢動脈	大腿動脈	396	291	105	10	20	86	6	10	153	4	76	53	107	145	19	127	6	97	76	65	24	0	0	0	0	0	0	0
	膝窩動脈	135	97	38	1	1	16	0	0	113	2	2	5	12	75	45	10	2	2	17	32	74	0	0	0	0	0	0	0
	その他	121	85	36	0	3	23	0	2	78	0	10	6	27	31	8	29	17	35	15	8	14	1	0	0	0	0	0	0
合計	1558	1102	456	31	50	249	19	27	897	15	163	142	336	437	113	467	142	389	212	156	165	2	0	0	0	0	0	0	0

1)術後30日以内の死亡

2)在院日数にかかわらず退院前の病院死亡とする。従って30日以内の退院例で術死(30日以内)があった場合を除き、術死も含まれる。

3)解離：急性、慢性を含む

4)維持透析例のみ

5)変性疾患：いわゆる動脈硬化性

6)一次性結合組織異常:Marfan症候群など

7)ステントG:ステントグラフト留置術でカテーテル法単独例のみを記載。

分枝再建を伴うステントGは弓部、胸腹部、および腹部大動脈-腎動脈再建あり

8)ハイブリッド:ステントGの併用。

弓部、胸腹部瘤に対するデプランチ+2期的ステントGは1例として本項に記載

9)血管炎:TAO、大動脈炎症候群および異型CoA、膠原病随伴血管炎、ベーチェット、FMDなどを含む

略語、略称解説

Y字: Y字型人工血管置換術

Tube: 直管人工血管置換術

ステントG: ステントグラフト留置術

ポリエステル: ポリエステル(ダクロン(R)など)人工血管

ePTFE: expanded polytetrafluoroethylene人工血管

2.慢性動脈閉塞症に対する血行再建【2011】

弓分枝・上肢・腹部内臓動脈

弓分枝・上肢・腹部内臓動脈	例	男	女	内訳			病因					術式						使用代用血管								
				術死	透析	再手術 ¹⁾	ASO	TAO	血管炎 ²⁾	高安動脈炎	その他	CAS		CEA		PTA/STENT ⁴⁾		置換	解剖学的バイパス	頸動脈-鎖骨下動脈バイパス	腋窩-腋窩動脈バイパス	その他	ポリエステル	ePTFE	自家静脈	その他
												例	脳障害 ³⁾	例	脳障害 ³⁾	例	脳障害									
頸動脈	118	101	17	0	7	4	106	0	0	1	11	12	1	92	3	4	0	3	0	4	1	2	3	1	4	0
椎骨動脈	2	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
鎖骨下動脈	113	83	30	0	14	8	88	0	0	0	25	0	0	0	0	56	0	2	3	6	40	8	16	32	1	0
大動脈弓分枝多発病変	15	8	7	0	0	2	7	0	0	3	5	0	0	0	0	3	0	2	8	0	0	2	7	0	3	1
腋窩動脈～上肢動脈	84	47	37	0	42	21	59	1	2	0	22					31	0	2	19	0	7	27	6	9	13	2
腹腔動脈・上腸間膜動脈	69	46	23	1	7	10	60	0	1	0	8					33	0	10	10	0	1	17	11	3	2	0
腎動脈	116	92	24	1	2	5	99	0	0	2	15					104	0	1	6	0	0	4	2	1	2	0
その他	49	37	12	0	19	5	38	2	0	0	9	0	0	0	0	29	0	3	3	2	1	10	4	2	2	2
合計	554	405	149	2	90	53	451	3	3	5	92	13	1	92	3	255	0	21	49	10	51	67	45	49	27	5

1)再手術:redo-operationのみを記載し、修復術revisionは合併症の項に記載する

2)血管炎:TAO、大動脈炎症候群および異型CoA、膠原病随伴血管炎、ベーチェット、FMDなどを含む

3)脳障害:術後の不可逆性脳障害合併症

4)PTA/STENT:PTA+ステント、レーザー、アセレクトミーなどの血管内治療を含む

大動脈-下肢動脈

大動脈-下肢動脈	例	男	女	内訳			病因					使用代用血管			
				術死	透析	再手術	ASO	TAO	血管炎	高安動脈炎	その他	ポリエステル	ePTFE	自家静脈	その他
大動脈-大動脈バイパス	70	54	16	0	3	2	62	0	0	3	5	48	18	5	0
腎動脈遮断下腹部大動脈手術	32	29	3	1	3	0	32	0	0	0	0	30	3	0	0
大動脈-大腿動脈バイパス ⁵⁾	680	578	102	7	39	51	661	2	2	0	14	509	195	29	5
大腿-膝上膝窩動脈バイパス	2,014	1,554	460	12	231	251	1,998	5	1	1	7	391	1,305	253	21
膝関節以下の血行再建	1,616	1,210	406	35	460	394	1,559	9	8	1	31	135	316	1,129	63
大腿-膝下膝窩動脈バイパス	658	494	164	12	131	149	638	3	3	0	8	84	215	341	25
大腿-下腿-足部動脈バイパス ⁶⁾	984	734	250	23	338	253	946	7	5	1	23	53	113	810	38
その他	173	132	41	3	25	23	165	0	0	0	7	61	72	26	4
合計	4,327	3,351	976	54	733	705	4,221	15	11	5	63	1,032	1,771	1,360	85

5)大動脈-腸骨動脈または腸骨動脈-大腿動脈バイパスはこの項に含める

6)膝窩～脛骨・腓骨動脈～足関節以下動脈バイパスはこの項に含める

5), 6)において血管内治療とのhybrid手術は各々1例として当該項に記載する

2.慢性動脈閉塞症に対する血行再建【2011】

非解剖学的バイパス

非解剖学的バイパス	例	男	女	内訳			病因			使用代用血管			
				術死	透析	再手術	ASO	TAO	その他	ホリエステル	ePTFE	自家静脈	その他
頸動脈-鎖骨下バイパス	10	6	4	0	1	2	8	0	2	5	3	2	0
腋窩-腋窩動脈バイパス	51	38	13	0	5	2	39	0	12	17	32	1	1
腋窩-大腿動脈バイパス ⁷⁾	397	280	117	10	55	55	377	0	20	151	239	15	5
大腿-大腿動脈バイパス	961	819	142	6	79	114	934	0	26	269	577	56	6
その他 ⁸⁾	139	103	36	2	18	25	129	2	8	43	46	20	0
合計	1,532	1,223	309	17	155	193	1,462	2	67	479	877	91	12

7)腋窩大腿一大腿動脈バイパスも1例とする。但し左右の腋窩一大腿動脈バイパスを2期的に施行した場合は2例とする。

また2期的に大腿一大腿動脈バイパスを追加した場合は大腿一大腿動脈バイパス1例とする

8)人工血管感染に対する非解剖学的バイパスはこの項に含めない(人工血管感染の項に記載する)

下肢動脈系血栓内膜摘除術⁹⁾

下肢動脈系血栓内膜摘除術	例	男	女	内訳			病因		
				術死	透析	ASO	TAO	その他	
(大動脈-)腸骨動脈	50	36	14	0	7	49	0	1	
大腿-膝窩動脈	568	432	136	11	122	553	3	7	
その他	90	57	33	0	19	85	1	4	
合計	702	521	181	11	146	682	4	11	

9)patch形成を含む

下肢動脈血管内治療¹⁰⁾

下肢動脈血管内治療	例	男	女	内訳			病因		
				術死	在院死亡	透析	ASO	TAO	その他
(大動脈-)腸骨動脈 ¹¹⁾	2,569	2,122	447	12	23	285	2,548	3	17
大腿-膝窩動脈 ¹¹⁾	1,834	1,300	534	7	29	498	1,824	5	4
(膝窩)・下腿動脈 ¹¹⁾	961	651	310	25	48	460	950	1	8
その他	46	30	16	2	1	22	43	2	1
合計(同時施行例を含む) ¹²⁾	4,768	3,636	1,132	39	83	1,026	4,727	9	28
合計(同時施行例を除く) ¹³⁾	4,153	3,191	962	32	65	804	4,116	7	26

10)PTA+ステント、subintimal PTA、レーザー、アセレクトミーはこの項に記載する

11)大動脈腸骨動脈、大腿・膝窩動脈、(膝窩)・下腿動脈の3領域について、2or3領域同時に施行した場合は各々1例として記載する。

また、bypassとのhybrid手術は各々1例として当該項に記載する。

12)2領域同時施行例は2例、3領域同時施行例は3例と数える

13)2領域または3領域同時施行例はいずれも1例と数える

3.急性動脈閉塞に対する血行再建【2011】

非外傷性急性動脈閉塞

閉塞領域 1)	例	男	女	術死	在院死亡	病因			術式					使用代用血管			
						塞栓症	血栓症 2)	その他	血栓剔除 ±バッチ3)	バイパス	置換	PTA± ステント	その他	自家血管	ポリエス テル	ePTFE	その他
頸動脈	6	4	2	1	1	0	3	3	3	2	0	1	1	1	1	0	0
鎖骨下動脈	75	43	32	4	5	38	27	9	26	17	29	3	2	2	10	34	0
腋窩動脈	51	29	22	5	6	19	28	4	38	8	0	6	5	3	4	3	1
上腕動脈	567	270	297	18	20	322	243	2	489	14	2	16	58	7	7	15	3
腹腔動脈・上腸間膜動脈系	82	58	24	16	25	32	22	28	34	31	3	6	10	16	6	12	2
腎動脈	14	10	4	2	3	6	2	6	1	5	1	7	0	2	1	4	0
腹部大動脈-腸骨動脈	644	462	182	83	98	196	338	108	382	227	18	86	25	13	137	112	5
大腿動脈-膝窩動脈	2,004	1,265	739	157	213	886	1,044	69	1,667	246	12	150	91	93	110	145	7
下腿動脈	616	420	196	60	70	293	311	12	487	59	7	74	42	38	29	48	5
足部動脈 4)	25	15	10	3	3	11	12	2	16	4	0	5	3	3	1	1	1
その他	280	193	87	14	20	44	176	60	158	94	15	29	19	79	14	16	3
合計	3,799	2,394	1,405	292	381	1,615	1,889	288	2,830	617	81	321	231	228	276	343	24

1)一次閉塞部位が特定できない場合は最中枢閉塞領域を記載する

2)ASO,TAOなどの慢性動脈閉塞の急性増悪による重症虚血肢は緊急手術例を除き慢性動脈閉塞の項に記載する

3)血栓剔除±バッチ:いずれか一方が施行された場合もこの項に記載する

4)足背および足底動脈系

4.血管外傷に対する治療【2011】

動脈外傷

動脈外傷	例	男	女	術死	在院死亡	受傷原因				術式						使用代用血管				
						交通事故	作業	医原性	その他	直接縫合	パッチ	置換	バイパス	血管内治療	結紮	その他	自家血管	ポリエステル	ePTFE	その他
頸動脈	11	8	3	1	2	2	2	4	3	5	1	0	1	2	3	0	1	1	0	0
鎖骨下動脈	12	8	4	1	2	1	1	8	2	7	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0
腋窩動脈	12	6	6	0	0	3	4	4	1	3	0	2	4	1	2	0	4	0	2	0
上腕動脈	181	116	65	2	4	3	14	150	14	133	1	7	9	0	20	14	13	0	4	0
下行胸部・胸腹部大動脈	37	23	14	14	14	15	4	6	12	3	0	10	0	12	2	10	0	8	2	0
腹腔動脈・上腸間膜動脈系	17	17	0	2	3	6	1	7	3	2	0	0	0	6	6	4	0	0	0	0
腎動脈	4	4	0	2	2	1	2	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0
腹部大動脈-腸骨動脈	94	48	46	12	15	13	5	60	15	34	3	5	17	20	14	7	1	13	8	2
大腿動脈-膝窩動脈	398	258	140	55	76	27	28	300	42	293	14	19	34	7	18	18	42	8	15	0
下腿動脈	27	20	7	0	0	5	8	9	5	7	0	3	10	0	2	6	11	1	0	0
その他	166	111	55	35	37	35	15	62	54	60	3	3	5	11	63	25	5	2	1	1
合計	949	610	339	123	154	105	83	609	150	547	22	48	78	60	131	84	75	34	30	3

静脈外傷¹⁾

静脈外傷	例	受傷原因				術式						使用代用血管					
		交通事故	作業	医原性	その他	直接縫合	パッチ	置換	バイパス	血管内治療	結紮	その他	自家血管	ポリエステル	ePTFE	その他	
上大静脈	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
下大静脈	8	1	2	3	2	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0
腕頭-鎖骨下静脈	6	0	1	3	2	3	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0
腸骨、大腿、膝窩静脈	39	3	3	32	1	34	1	0	1	1	3	3	0	1	1	0	0
その他	27	4	3	11	9	8	1	2	2	0	13	3	4	0	0	1	1
合計	81	9	9	48	15	49	2	3	3	1	19	11	4	1	2	1	1

1)静脈単独損傷の場合のみ記載し、同名の動静脈損傷では動脈の項に記載する

5.血行再建合併症に対する手術 血行再建【2011】

人工血管感染

初回手術	例	術死 ¹⁾	在院死亡 ²⁾	感染に対する修復術式			感染に対し使用した代用血管				
				同所性置換	非解剖学的バイパス	その他	ポリエステル	ePTFE	自家血管	凍結保存ヒト血管	その他
下行胸部大動脈	2	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0
胸腹部大動脈	9	1	2	3	0	6	3	0	0	0	1
上記手術における補助手段	体外循環	0	0	0	0	0					
	一時バイパス	0	0	0	0	0					
	補助手段なし	0	0	0	0	0					
大動脈-腸骨動脈	46	7	12	14	22	10	20	16	3	0	1
大動脈-大腿動脈	31	1	3	7	7	17	4	7	6	0	0
大腿動脈-末梢動脈	123	7	22	18	17	88	13	40	17	1	1
その他 ³⁾	234	12	36	24	32	177	31	75	15	0	11
合計	445	28	76	66	78	300	72	138	41	1	14

1)感染に対する手術: 術後30日以内の死亡

2)感染に対する手術: 在院日数にかかわらず退院前の病院死亡とする。従って30日以内の退院例で術死(30日以内)があった場合を除き、術死も含まれる。

3)弓分枝、上肢動脈はこの項に記載する

吻合部動脈瘤⁴⁾

吻合部動脈瘤	例	術死	病因					修復術式				修復に使用した代用血管			
			動脈硬化 ⁵⁾	高安病	他血管炎 ⁶⁾	感染	その他	置換	空置バイパス	ステントG	その他	ポリエステル	ePTFE	自家血管	その他
大動脈弓分枝	6	1	4	0	0	1	1	1	0	1	5	3	1	0	1
腋窩動脈-上肢動脈	44	1	4	0	0	13	27	1	2	0	40	0	5	5	1
胸部大動脈	28	2	9	0	0	0	19	0	0	24	6	8	4	0	16
腹部内臓動脈	4	1	1	0	0	1	2	0	1	1	3	3	0	0	0
腎動脈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部大動脈	69	1	42	1	0	3	23	6	1	30	34	23	9	0	16
腸骨動脈	34	5	12	0	0	4	18	2	0	20	14	4	5	1	13
大腿動脈	56	1	27	0	2	7	20	15	3	0	38	16	12	8	1
下肢末梢動脈	17	1	11	0	1	1	4	5	3	1	8	3	3	5	0
合計	240	13	109	1	3	30	97	30	9	66	142	58	39	19	32

4)感染による人工血管の吻合部仮性動脈瘤は人工血管感染の項に記載する

5)変性疾患を含む

6)他血管炎: 高安病以外の血管炎症候群(TAO、膠原病、ベーチェット、FMDなど)

自家血管グラフト瘤

初回再建領域	例	術死	術式		
			置換	バイパス	その他
腹部内臓動脈	1	0	0	1	0
上肢動脈	44	0	7	10	29
下肢動脈	28	1	6	3	19
その他	13	1	1	3	9
合計	86	2	14	17	57

5.血行再建合併症に対する手術 血行再建【2011】

人工血管劣化

初回手術	例 7)	術死 7)	初回術式				劣化した人工血管			劣化に対する修復術式					劣化に対する修復代用血管		
			置換	バイパス	ステントG	その他	ポリエステル	ePTFE	その他	置換	バイパス	ステントG	パッチ	その他	ポリエステル	ePTFE	その他
下行胸部大動脈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸腹部大動脈	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0
腹部動脈-大腿動脈	6	0	2	3	1	0	4	1	1	4	0	1	0	1	2	3	0
大腿-膝窩動脈	5	0	2	3	0	0	3	2	0	2	1	0	0	2	3	0	1
その他	23	0	5	6	0	11	8	13	1	7	5	0	0	11	5	10	1
合計	33	0	9	11	1	11	14	16	2	13	6	1	0	13	10	13	2

7)劣化に対する手術例数、及び、修復術の術死数

代用血管の再狭窄,急性閉塞に対する修復手術⁸⁾

初回手術	例 9)	術死 9)	修復術式の内訳					修復に対する使用代用血管			
			パッチ/ 血栓剔除	置換	バイパス	PTA± ステント	その他	ポリエステル	ePTFE	自家血管	その他
大動脈またはその一次分枝再建	117	5	29	10	35	43	16	45	32	4	4
上肢動脈再建	219	8	76	25	38	65	41	18	71	39	13
下肢動脈再建	486	15	224	31	141	108	50	61	129	135	10
合計	811	26	319	65	210	214	106	122	227	178	27

8)吻合部狭窄、グラフト狭窄・閉塞、内膜切除の再狭窄を含む

9)修復手術の例数と術死数

6. 静脈手術【2011】

下肢静脈瘤

下肢静脈瘤	例	男	女	術死
高位結紮(±硬化療法)	3,418	1,102	2,316	0
ストリッピング(±硬化療法)	12,164	4,742	7,422	1
その他	3,282	1,012	2,270	0
合計	18,864	6,856	12,008	1

下肢深部静脈血栓症

下肢深部静脈血栓症	例	男	女	術死
血栓摘除	68	35	33	2
カテーテル血栓溶解 ¹⁾	40	23	17	0
バイパス(末梢静脈血行再建)	6	4	2	0
下大静脈フィルター ²⁾	287	119	168	4
合計	348	153	195	6

上肢静脈閉塞症

上肢静脈閉塞症	例	男	女	術死
血栓摘除	51	22	29	1
カテーテル血栓溶解 ¹⁾	8	4	4	0
バイパス	32	18	14	2
上大静脈フィルター ²⁾	1	0	1	0
合計	88	44	44	2

大静脈再建術

大静脈再建術	例	術死 ³⁾	在院死亡 ⁴⁾	病因			術式					使用代用血管			
				腫瘍	血栓	その他	パッチ	バイパス	置換	PTA±ステント	その他	自家血管	ポリエステル	ePTFE	その他
上大静脈・一次分枝再建	22	0	3	13	5	4	1	5	4	9	3	1	1	7	5
下大静脈・一次分枝再建	45	2	2	39	1	5	5	0	14	1	24	6	2	8	3
合計	67	2	5	52	6	9	6	5	18	10	27	7	3	15	8

Budd-Chiari症候群

Budd-Chiari症候群	例	男	女	術死 ³⁾	在院死亡 ⁴⁾	使用代用血管			
						ポリエステル	ePTFE	自家血管	その他
shunting	4	2	2	0	1	0	2	0	0
decompression	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	2	0	1	0	2	0	0

※静脈瘤の手術は、1下肢につき1手術として登録を行っている。そのため、本報告書の集計は延べ人数となっていることに注意する。

1)ハイドロライザーを含む

2)一時フィルターを含む

3)術後30日以内の死亡

4)在院日数にかかわらず退院前の病院死亡とする。従って30日以内の退院例で術死(30日以内)があった場合を除き、術死も含まれる。

7.その他の血管疾患および関連手術【2011】

膝窩動脈捕捉症候群

膝窩動脈捕捉症候群	例	術死
筋腱切除	5	0
血行再建	18	0
合計	20	0

外膜囊腫

外膜囊腫	例	術死
囊腫切除・摘除(±パッチ)	36	1
置換術	12	0
バイパス	4	0
合計	49	1

胸郭出口症候群¹⁾

胸郭出口症候群	例	男	女	術死	病型		
					神経性	静脈性	動脈性
肋骨切除 ²⁾	1	1	0	0	1	0	0
肋骨切除+斜角筋切除	7	3	4	0	6	0	2
バイパス	5	4	1	0	1	0	4
合計	12	7	5	0	8	0	5

内シャント手術

内シャント手術	例	術死
自家血管による造設	8,940	100
人工血管による造設 ³⁾	2,114	38
内シャント修復手術	1,840	34
PTA±ステント	3,075	22
動脈表在化	327	12
合計	16,296	206

リンパ浮腫手術

リンパ浮腫手術	例	男	女	術死
リンパ管-静脈吻合	24	2	22	0
リンパ誘導手術	1	0	1	0
切除術	24	14	10	0
合計	49	16	33	0

1)混合性は有意な方、同等なら神経、動脈、静脈について該当する欄に複数記入

2)頸肋を含む

3)人工血管を用いた修復を含む

7.その他の血管疾患および関連手術【2011】

交感神経節切除

交感神経節切除	例	術死
胸部交感神経節切除術	20	0
腰部交感神経節切除術	15	0
合計	35	0

上肢切断⁴⁾

上肢切断	例	術死
手指切断	12	1
前腕・上腕切断	0	0
合計	12	1

下肢切断⁴⁾

下肢切断	例	術死	病因			
			ASO	DM+ASO	TAO	その他
足趾切断	387	11	156	201	7	23
サイム切断	6	0	1	5	0	0
下腿切断	202	18	63	125	3	10
膝上切断・膝関節離断	273	28	159	84	3	27
股関節離断	6	2	5	1	0	0
中足骨切断	123	2	42	73	0	8
シヨパール切断・リスフラン切断	40	2	10	27	0	3
合計	1,037	63	436	516	13	71

4)虚血による切断に限る